

【機密性 1 情報】

教員会議（2310回）議事要録

日 時：令和5年11月22日（水）13時30分～15時45分

場 所：人間発達文化学類大会議室

【確認事項】

「教員会議（2309回）議事要録（案）」について、確認された。

◆教員会議◆

【審議事項】

1. 入試委：《先議》

(1) 令和6年度定員超過・定員割れを起こさないための措置について（資1一回収）

中村(洋)委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、①総合型選抜と学校推薦型Ⅱにおける割増合格の措置、②コースごとの割増合格予定者の設定に関して質疑応答及び意見交換を行った後、総合型選抜における措置についてのみ承認された。なお、総合型選抜以外の入学試験における措置については、再度検討のうえ、改めて提案することとした。

(2) 令和6年度人間発達文化学類総合型選抜合否判定について（資2一回収）

和田委員から、標記について「合否判定基準」を読み上げた後、資料に基づき説明提案があり、承認された。

(3) 令和6年度学校推薦型選抜Ⅱの合否判定基準（案）について（資3一回収）

中村(洋)委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

2. 人事について

(1) 令和6年度昇任人事について

学類長から、11月8日締切で募集していた標記について、新規の申請はなく、昨年度に申請を行っていた2名の教授昇任について教育研究院会議へ提出することとした旨の報告があった。

(2) 今後の人事計画について

学類長から、教育研究院会議に諮っていた2件の採用人事(①村上正義特任教員の2年間延長、②鈴木昭夫特任教員の2年間延長)が承認された旨の報告があった。

3. 人事委員会：

(1) 副学長候補適任者の選考について（資4）

学類長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

4. 学類長：

(1) 大学改革（学士課程改革）について

学類長から、学士課程改革の背景及び必要性について説明があった。次いで、拡大将来計画検討委員会（以下、「委員会」）の牧田委員長から、委員会を発足するにあたり教員会議で確認した事項として、新学部は教員養成を中心とする学部であること、新学部の検討にあたっては「教員養成課程のみの教育学部」「ゼロ免コース併置の教育学部」「一般学部」の3つのパターンのいずれの可能性も排除しない旨を決定したことについて改めて説明があった。続けて、その後に生じた状況の変化として、森津総務課長による文部科学省との意見交換に関する報告、及びゼロ免コースや教員養成課程を含む一般学部の設置に対する学長の判断について説明があった。3つのパターンを検討することは作業量が過大であり対応が困難となってきたことも踏まえて、牧田委員長からの提案として、委員会の任務としてこのまま3つのパターンの平行立案を続けるべきなのか、今の時点でゼロ免コースと一般学部の検討から撤退することを許していただけるのか、教員会議に判断を求めたいとの発言があった。

質疑に入り、①教育学部化に対する懸念への回答や議論が十分ではない、②教育学部を優先して検討することには賛成であるが、それ以外の可能性を排除しないで議論してほしい、③全学的な動きも踏まえて検討してほしい、④養成する人材に関する議論も必要である、⑤教育学部化に

対する様々な懸念を払しょくするような魅力を打ち出してほしい、⑥教育学部とした場合の懸念やデメリットについても必ず検証し、議論の材料としてほしい、などの意見が出された。

以上の意見交換等を踏まえ、牧田委員長から、12月の教員会議においては教育学部とした場合の構想を提示することとし、委員会はそのため検討に専念し、ゼロ免コース及び一般学部に関する検討は中断することについて提案があり、承認された。

※次回の教員会議は、令和5年12月13日（水）13時30分から開催することとした。